

令和3年度

Web
研修

個別労働紛争解決研修のご案内

基礎研修

個別労働紛争を防ぎ、解決して
働きやすい職場の実現を！

応用研修



公益社団法人 全国労働基準関係団体連合会(略称 全基連)
個別労働紛争解決研修運営委員会

令和3年度 個別労働紛争解決研修について

近年、解雇、労働条件の引き下げ、いじめ・嫌がらせ、雇止めなど、労働者個人と事業主との間の企業内トラブル（個別労働紛争）が頻発し、コロナ禍が拍車をかけています。こうした中であって個別労働紛争の発生を予防するとともに、発生した労働紛争に適切に対応し、労働者が安心して働ける職場環境を整備することは、今や経営の最重要課題の一つとなっています。

本研修は、主に企業内の個別労働紛争に対応される方に、個別労働紛争の発生を防ぐとともに、発生してしまった紛争を早期に、円滑かつ適切に解決できる人材を育成することを目的として、①紛争の争点を把握し整理する能力、②争点ごとに事実関係を調査し、正確に把握する能力、③法令、判例や就業規則を踏まえ、有効な解決手段を見出す能力などを付与・向上することを目的として開催するものです。

研修は、紛争解決のための基本的能力を身に付けることを目的とした「基礎研修」と複雑化・多様化する紛争に適切に対応するための実践的な能力を身に付けることを目的とした「応用研修」で構成されています。3年度の研修は、コロナ対応として、昨年度までの対面方式を改め、全てWebにより開催することとし、カリキュラム、研修日数や開催回数など大幅に変更する一方で、ライブ配信と合わせオンデマンド配信により事前学習の機会を設けるなど様々に工夫を加えることにより、高い研修水準を確保しています。

多数の皆様方のご受講をお待ちしています。

基礎研修

受講料（税込、テキスト教材一式込）

27,500円

基礎研修は、主に、企業内の個別労働紛争に対応される方に企業内の個別労働紛争の発生を防ぐとともに、発生してしまった紛争を早期に、円滑かつ適切に解決するために必要な基礎的な能力を付与・向上することを目的とした研修です。

個別労働紛争に適切に対応するために必要な労働法のポイントを理解していただくとともに、実際の問題に対処する手法を身に付けていただきます。（定員 60 人）

研修内容

労働法と事例的研修で構成されています。

労働法

- ・身近な個別労働紛争の事例や判例を数多く取り入れた講義を通して、紛争解決のルールとなる労働法の基本的知識を習得していただきます。
- ・講師は、著名な労働法学者が担当。



事例的研修

- ・個別労働紛争解決システムを理解していただく上で、具体的な事例を活用して、どのように紛争を解決していくかを検討していただきます。
- ・講師は実務経験豊富な労使の弁護士が担当。

受講の流れ

Webによる研修の効果を上げるため、事前にオンデマンドの配信による動画を視聴して予習していただき、研修当日はライブ配信を受講していただく「ハイブリッド方式」をとります。

事前学習

(研修日(ライブ配信日)の1カ月前～前日)

- ・研修日の1カ月前までにテキスト、レジュメ、オンデマンド動画視聴用パスワードを送付します。
- ・下記労働法①～⑥は、研修日の前日までにオンデマンド配信による動画を視聴して下さい。
- ・研修日は上記の視聴を前提に「労働法(総括)」の講義を受講していただきます(講師:労働法学者)。

内容		時間
労働法①	労働契約の基礎	90分
労働法②	労働契約の開始と展開	90分
労働法③	労働契約の終了	90分
労働法④	賃金・労働時間	90分
労働法⑤	雇用均等・非典型雇用	90分
労働法⑥	集团的労使関係と法	90分

研修日(ライブ配信日)

(スケジュール)

日時	内容		担当
9:00～9:30	準備、オリエンテーション		事務局
9:30～11:00	事例的研修①	労働紛争の解決システム/労働事件の審理の実際と解説	労側弁護士または使側弁護士*
11:15～12:45	事例的研修②		
13:30～15:00	事例的研修③	争点の把握と法の適用	使側弁護士または労側弁護士*
15:15～16:45	事例的研修④		
17:00～18:30	労働法(総括)	労働法①～⑥の学習を前提に、重要ポイントの確認・解説、受講者との質疑応答	労働法学者

*各回、労側・使側双方の弁護士の講義を受講できます。

受講者から高い評価

これまでの研修には受講者から高い評価が寄せられています。

(令和2年度 受講者アンケートより抜粋)

研修全体について

- ・素晴らしい講師陣で内容も濃く刺激的で集中できた研修だった。
- ・労使双方の弁護士講師の実践的な講義と研究者講師の学問的な講義はバランスの良い研修だった。
- ・労働法の基本・整理と紛争解決プログラムの事例により体系的、実践的に学べた有意義な研修だった。
- ・久しぶりの受講だったが、ブラッシュアップのために定期的受講する意義を感じた。
- ・異動で初めて労働分野を担当するためいろいろな研修に参加した中では、とても充実した一番役立つ研修だった。
- ・非常に有益な研修で会社の総務・人事労務担当者や組合幹部にも紹介したい。

労働法 ①～⑥

- ・レジュメにテキストのポイントが簡潔に整理された上で最新の状況まで記述されており、非常に分かりやすく、今後の業務にも役立つと思った。
- ・レジュメが大変丁寧に作り込まれ、労働法を基礎から学び直しポイントを再確認できる、体系だった分かりやすい講義だった。
- ・労働法についてある程度の知識はあったが、理解がより深まった。
- ・オンデマンド配信の事前学習は都合の良い時間に理解できない箇所も繰り返し学べて、より理解を深めることができた。

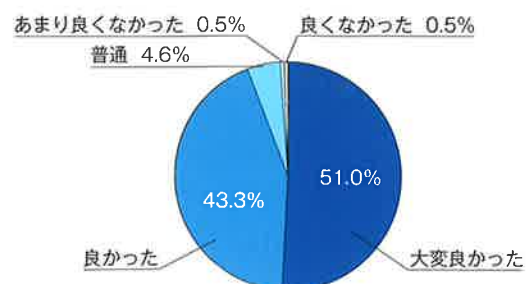
労働法(総括)

- ・解説がテンポよく、具体的で分かりやすく、労働法講義の復習として有益だった。
- ・労働法の要点を簡潔で明快な説明により、基本的な知識や考え方を確認・整理できた。
- ・まとめの講義に相応しい、ポイントチェックができた講義だった。
- ・重要ポイントの追加解説により、労働法の基本的な部分と振り返りで理解が進んだ。
- ・受講者参加の緊張感のある分かりやすい説明で理解が深まり、テキストの該当箇所の指摘を含め、復習にあたって非常に参考になった。

事例的研修 ①～④

- ・労働審判で扱われた事件の事案で、とても興味深く受講できた。
- ・参加型の講義で自らの意見を整理でき、他の受講者の意見も聴けて理解を深められた。
- ・労使双方の専門家による実務経験を踏まえた実践的な内容で非常に勉強になった。
- ・レジュメも分かり易く整理され、講師の体験談も交えて労働審判の具体的なイメージを持つことができ理解が深まった。
- ・事例によって判断を迷うことがあったが、丁寧な解説に助けられた。
- ・実際のやり取りをイメージできる内容で、緊張感があり、理解の助けになった。
- ・事例に沿って事実に基づいた争点の把握と判断の枠組みを柔軟に考えることを学べた。

基礎研修の満足度



応用研修

受講料（税込、テキスト教材一式込）

20,350円

（リピート割引適用※）

17,050円

※継続的に受講をしていただく方（①令和2年度又は3年度に基礎研修を修了した方、あるいは、②令和元年度から3年度の間に応用研修を修了した方）は受講料の割引（リピート割引）が受けられます。

応用研修は、個別労働紛争の解決に携わった経験のある方や同程度の知識を有する方を対象に、紛争解決能力のスキルアップを目的としています。

研修では、最新の労働法の改正や判例の動向について理解を深めていただくとともに、紛争事例の解決策を具体的に検討する「事例的研修」や労働審判模擬トレーニングを通じて複雑、多様化する個別労働紛争に対処するためのスキルアップを図ります。（定員 40 人）

なお、応用研修には、受講要件が設けられています。一定の資格*を有する方以外は基礎研修を受講していることが必要です。基礎研修修了後、次のステップとして応用研修へお進み下さい。

研修内容

「最近の労働立法・判例の動向」、「事例的研修」、「個別労働紛争解決トレーニング」で構成されています。

* 応用研修の受講資格

以下の要件のいずれかに該当する方が対象になります。

- ① 個別労働紛争解決研修（基礎研修）修了者
- ② 社会保険労務士
- ③ 弁護士
- ④ 都道府県労働委員会等の委員又は職員で個別労働紛争解決業務等に従事している・していた方
- ⑤ 東京労働大学講座（専門講座）労働法コースの修了者
- ⑥ 東京労働大学講座（総合講座） i）労働法部門を受講した方又は一括受講した方で、かつ、 ii）労働法の試験に合格し修了証書を授与された方

最近の労働立法・判例の動向

- ・ 明快な解説により、最近の労働法改正や判例の動向について理解を深めます。
- ・ 講師は、著名な労働法学者が担当します。

個別労働紛争を解決する能力の習得・向上

事例的研修

- ・ 最新の労働関係法令・判例や喫緊の労働課題を盛り込んだ紛争事例を用いて、労働紛争の具体的な解決方法を学びます。
- ・ 講師は、事例的研修①は著名な労働法学者が、事例的研修②③は労働事件に関する実務経験豊富な弁護士が担当します。

個別労働紛争解決トレーニング

- ・ 本講義用に作成した模擬労働審判事件を素材に、争点・証拠の整理、証拠調べ、事実認定・解決案（調停案）の検討など一連のプロセスを学びます。
- ・ 講師は、労働問題に精通し、多くの労働事件を手掛けてきた弁護士が担当します。

受講の流れ

Webによる研修の効果を上げるため、事前にオンデマンドの配信による動画を視聴して予習していただき、研修当日はライブ配信を受講していただく「ハイブリッド方式」をとります。

事前学習

- (研修日(ライブ配信日)の1カ月前～前日)
- ・研修日の1カ月前までにテキスト、レジュメ、オンデマンド動画視聴用パスワードを送付します。
 - ・下記「最近の労働立法/判例の動向」及び「事例的研修①(事前学習)」については、研修の前日までにオンデマンド配信による動画を視聴して下さい。
 - ・研修日は上記の視聴を前提に「労働法(総括)」の講義を受講していただきます(講師：労働法学者)。

内容		時間
最近の労働立法/判例の動向	最近の労働立法・労働判例の解説	150分
事例的研修①(事前準備)	テキストで取り上げている事例について基本となる知識、考え方のポイントを説明	60分

研修日(ライブ配信日)

(スケジュール)

日時	内容	担当
9:00～9:30	準備、オリエンテーション	事務局
9:30～11:00	事例的研修②	事例の法的分析 労側弁護士または使側弁護士*
11:15～12:45	事例的研修③	
13:30～15:00	労働法(総括)	労働法学者
15:15～18:30	個別労働紛争解決トレーニング	使側弁護士または労側弁護士*

*各回、労側・使側双方の弁護士の講義を受講できます。

評価

これまでの研修には受講者から高い評価が寄せられています。

(令和2年度 受講者アンケートより抜粋)

研修全体について

- ・実践的な議論ができて専門家の解説が学べる講習は有意義である。
- ・立場の異なる受講者と議論ができて、とても刺激になった。
- ・実践的な内容で講師の説明も分かりやすく、また受講したい。

最近の労働立法・判例の動向

- ・労働立法の理解が進み、判例に対する考え方も掘り下げて知ることができた。
- ・最新の法令、判例の解説が具体的で理解しやすかった。
- ・重要な事項の説明や判例の解説が大変有益で、今後の業務に役立たせたい。
- ・論点が分かりやすく、レジュメにより重要なポイントの理解が進んだ。

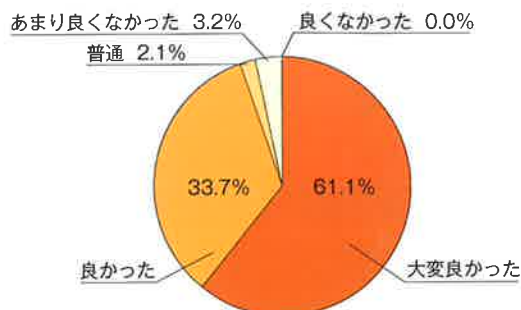
個別労働紛争解決トレーニング

- ・実際の紛争解決に向けての進め方や考え方が大変参考になった。
- ・実際の紛争解決に向けて学ぶことができ、他の受講者の意見も聴けて有意義だった。
- ・実際に論点整理、解決案の議論を通して事例を考えることができ良かった。
- ・尋問の考え方や仕方を学べ、実践的で参考になった。

事例的研修 ①～③

- ・労使双方の考え方や経験を交えた説明で実務にも役立ち、勉強になった。
- ・判例や条文を交えた説明は分かりやすく、論点整理の仕方が理解できた。
- ・実務経験を踏まえた説明で業務にも役立ち、勉強になった。

応用研修の満足度



カリキュラム 講師

- 基礎研修及び応用研修のカリキュラム等は、労使団体、労働法学者、労使各側の弁護士からなる「個別労働紛争解決研修運営委員会」が企画します。
- 講師は、労働関係に深い知見を有する労働法学者や労働事件について豊富な実務経験を有する労使各側の弁護士が担当します。各回の担当講師は全基連のホームページをご覧ください。

個別労働紛争解決研修運営委員会メンバー

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|
| 委員長 山川 隆一
(東京大学大学院法学政治学研究科教授) | 委員 島田 陽一
(早稲田大学法学学術院教授) |
| 副委員長 石田 昭浩
(日本労働組合総連合会副事務局長) | 委員 水町 勇一郎
(東京大学社会科学研究所教授) |
| 副委員長 鈴木 重也
(一社)日本経済団体連合会労働法制本部長) | 委員 水地 啓子
(日本弁護士連合会労働法制委員長) |

日程・講師一覧

基礎研修 →



(<http://www.zenkiren.com/jutaku/tabid273.html>)

応用研修 →



(<http://www.zenkiren.com/jutaku/tabid287.html>)

テキストと修了証

一定の要件を満たした方には修了証が付与されます。

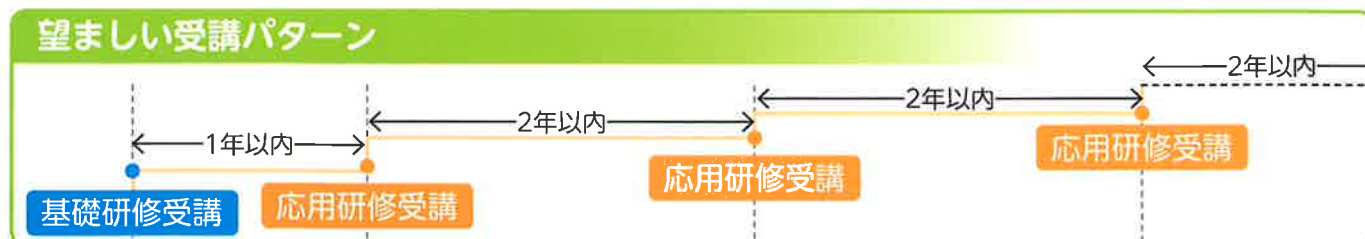


継続的な受講のお勧め

労働紛争の発生を 방지、早期に円滑かつ適正に解決するためには、法令、判例、労働政策等の最新の動きについて常に把握、理解しておくことが強く望まれます。このため、研修は「一度受講して終わり」ではなく、定期的に反復受講、バージョンアップしておくことが必要です。具体的には、①基礎研修を受講した年又はその翌年に応用研修を受講、②応用研修を受講した後2年以内毎に再度応用研修を受講、が望ましい受講パターンです。

こうした継続的な受講を後押しするため受講料割引制度を設けています。この割引制度を活用し労働紛争解決能力をステップアップ、ブラッシュアップしましょう。

望ましい受講パターン



受講料割引制度 (リピート割引)



お申し込みから受講までの流れ

Step 1 お申し込み

■インターネットからお申込み下さい。

当連合会ホームページ (<http://www.zenkiren.com>) の「応募フォーム」からお申込み下さい。
※ご提出いただいた個人情報は当連合会で厳重に管理し、本研修の目的以外には利用しません。

Step 2 受講料のお振込み

■受講料は、研修開始の1か月前までに下記口座にお振込み下さい。

基礎研修 **27,500** 円 応用研修 **20,350** 円 (リピート割引適用 **17,050** 円) (いずれも税込み)

三菱 UFJ 銀行 神田支店 普通預金 0338084

公益社団法人全国労働基準関係団体連合会

シャ) ゼンコクラウドウキジュンカンケイダンタイレンゴウカイ

※振込手数料はご負担下さい。 ※領収書は振込控をもって代えさせていただきます。

Step 3 教材、動画視聴用 URL 等の送付 (研修日の1か月前)

■受講料の入金確認後、研修日の1か月前頃に、テキスト、教材及び動画視聴用 URL、操作マニュアル等をご指定の住所宛にお送りします。

- ・テキストは、研修当日までに必ず**事前に学習**して下さい。
- ・基礎研修は「労働法①～⑥」、応用研修は「最近の労働立法・判例の動向」、「事例的研修① (事前学習)」について、**オンデマンドの動画配信**を視聴して下さい。

※事前学習でわからない点、疑問に思った点は、研修前日までに事務局にメール (kensyu@zenkiren.com) でご連絡下さい。講師にお伝えします (回答するか否かの判断は講師にお任せしています)。

※テキスト送付後のキャンセルはできません。

Step 4 研修の受講 (ライブ配信日)

■研修前日までに、**ライブ配信受講用の URL とパスワード**をご登録されたメールアドレス宛にお送りします。

■研修は、休憩をはさみながら9時30分から18時30分となります。この間落ち着いて受講 (視聴) できる環境を確保してください。

■9時から配信を開始し、9時20分頃からオリエンテーションが開始されます。早めにログインし、機器が正常に受信できているか確認して下さい。

※レジュメ等はテキスト送付時にテキストと合わせ送付いたしますが、追加分等については、必要に応じ Web にアップしますので、ご自身でダウンロードするなどしてご覧下さい。

【その他、受講環境について】

研修で使用するアプリは、Vimeo と Zoom です。あらかじめダウンロードするなど受講環境を整えてください。

ご視聴は1アカウント1端末です。他の方との共有、画像のダウンロード、録画は禁止します。

研修スケジュール

基礎研修 令和3年7月～令和4年1月……13回開催 定員 60人/回
 応用研修 令和3年9月～令和4年2月……10回開催 定員 40人/回

令和3年7月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

月	火	水	木	金	土	日
2	3	4	5	6	7	1/8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

令和4年1月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

- 基礎研修ライブ配信日
- 応用研修ライブ配信日

それぞれの研修日前の約1か月間がオンデマンド配信による受講（視聴）期間となります。

【受講申込み】 お申し込みはホームページから。研修内容の詳細はこちら

<http://www.zenkiren.com/jutaku/kensyu.html>



主催：公益社団法人 **全国労働基準関係団体連合会**（略称：全基連）
 東京都千代田区内神田1-12-2 三秀舎ビル6階
 ☎ 03-3518-9103 FAX：03-3518-9104 e-mail：kensyu@zenkiren.com
 URL：http://www.zenkiren.com/

